

(生徒用)

家庭学習の手引き

三鷹市立第五中学校

○なぜ「家庭学習」が必要なのか？

中学生のみなさんにとって学習の基本となるのは、やはり日々の学校での「授業」です。授業においては、新しいことを学んだり、新たな発見や気づきがあったり、問題が解けたりすれば、学習することが楽しくなります。しかし逆を考えると、分からないことが多くなってくれば、学習に対する意欲が低くなり、授業がしんどいものになってしまうことも考えられます。

もちろん、先生たちもみなさんの学習意欲が高まるような授業づくりを心がけています。それに加えて、みなさんが各家庭でその日の復習や次の日の予習等に取り組めば、授業での学習がより深いものとなっていき、学習することを「楽しい」と感じられる機会が増えていくかもしれません。**学校の授業で学習に取り組む時間を今より少しでも充実したものにしていくために、家庭学習の習慣が大切なのです。**

家庭学習は、様々な家庭環境や生活習慣の中、難しい部分もあると思いますが、下にまとめた「家庭学習の約束事」に沿って、できるかぎり毎日、自主的・自発的に家庭学習に取り組む習慣をつけましょう。

○家庭学習では何をしたらいいのか？

家庭学習の内容には、大きく分けると2つあります。「予習」と「復習」です。「予習」は、次回の授業ではどんなことを学習するのか、前もって確認しておくこと。「復習」は、その日の授業で習ったことをふり返り、十分理解できているか確かめることです。教科書を音読して重要なところにふせんを貼ってみたり、暗記すべき単語を繰り返し書き写したり、問題集を使って問題演習をしたり、授業のノートやプリントを読み返してメモをつけ足したり……**教科や単元、学年によって取り組む課題は様々**です。その時々でやらなければならないこと、やっておきたいことを整理し、計画的に取り組んでいきましょう。

家庭でどんな学習をしたらよいか、どうしても思いつかない場合は、周りの友達や、教科や学年の先生に相談してみましょう。「こんな風にやっているよ」、「この問題に挑戦してみて」など、アドバイスをくれるはずです。

家庭での学習・生活の約束事

① 時間を決めて学習に取り組む。

「20時から21時まで」といったように、あらかじめ開始・終了時刻の目安を決めてから学習をしましょう。

② 環境を整え、学習に集中する。

机の上には必要な物以外は置かない、音楽を聴いたりテレビを見たりしない、というように、短時間でも集中して取り組むことができる環境で学習しましょう。

③ 計画を立て、毎日取り組む。

家庭学習は習慣です。30分、15分といった短い時間でも、毎日続けることを目標にしましょう。

また「何の教科を」「いつ」「どのように」学習するのか、計画をたてて取り組みましょう。

④ 規則正しい生活リズムを維持する。

翌日に疲れを持ち越さない睡眠時間が必要です。早寝早起きを心がけ、毎朝、しっかり朝食を食べましょう。

⑤ ファミリールールを守る。

門限や、スマホやテレビ・ゲームの利用に関する「ファミリールール」を絶対に守りましょう。